



わかば

学校だより12月号
2学期最終号

令和2年12月25日
柏市立柏第三小学校
校長 大森 千恵子

新たな年に向けて、心新たに！！



本日終業式を終え、明日から冬休みが始まります。新型コロナウイルス感染症の拡大により、この1年制限の多い日が続きました。子供達は前向きに学習・生活に取り組みで迎えました。令和3年は丑年です。丑年は十二支の2番目で、芽吹きを迎えようとする年です。コロナウイルスを克服し、希望に満ちた年となることを切に願います。保護者の皆様は、2学期も本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、ご多用の中、個人面談・学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からいただいたご意見等を、今後の教育活動の更なる充実に向け活かしていく所存です。

コロナ禍の学校生活を振り返って

本校の特別活動をリードしてきた児童会の子供達の、今年1年を振り返って今思うこと、考えていることを紹介します

(5年生)

・「児童会の一員として」杉 ひなの

今年はコロナ禍で休校になって、授業がおくれていると、給食中しゃべれなかったりと学校生活が不便でした。特にマスクをしていて、声が聞こえづらかったので、ぼ金活動の時に、はっきりと大きな声でみんなに聞こえるようにがんばりました。

大変だったけれど、やりがいのある仕事だと、あらためて思いました。

・「今年のふり返り」入瀬 遼太

僕は、今年、コロナ禍で行事が少なくなり、児童会の仕事が普段より減った。その中で、一つの仕事に真剣に取り組み、普段以上の結果を出せるようにした。例えば、募金の時に大きな声で呼びかけたり、放送をする時、聞こえやすいように、ハキハキと話したりした。

何回か失敗することはあったけれど、去年よりも、とても学んだ一年間になった。

・「こんな時こそ、ポジティブに」津川 愛依

私はコロナ禍の中で、正直、ドッジボールができなかったこと、クラブ活動、授業が少ないなどのいろいろなことに規制がかけられているのがつらかったです。今も第三波に備えていろいろガマンが必要で、終わりが見えない状態ですが、こんな時こそ、ポジティブに考えて、手洗いなどをてっ底し、また自由な学校生活が送れたら良いと思いました。

・「コロナの災難」中山 陽楓

ぼくは、今年コロナのせいで、休校という形になって少しいやではありましたが、テレワークでの習い事、出された宿題があったおかげで何とか、第一次は乗りきれました。たくさんの方が悔しい思いなどをしていた中で、コロナと戦い続ける人々に、すごいな、カッコいいなと思いました。そこでぼくもコロナと戦い続け終息するまで頑張りたいです。

・「コロナ禍だったからこそ気づけたこと」正崎 歩和

コロナのえいきょうで参観日や運動会などのイベントが中止になり、林間学校も宿泊という形ではできませんでした。でも私は、その分いつも通りの生活に目を向けることができました。家族との会話、友達の笑い声、その一つ一つが大切な思い出なんだなあと気づかされました。一日でも早く世界中の人が笑顔になれたらいいなと思います。

(6年生)

・「コロナの中で楽しみを」江波戸 蒼史

ぼくは、このコロナ禍で、ふだんできるものがなくなりましたが、それでも楽しい学校生活を送れるように工夫してきました。外に出て、みんなで遊んだり、何か作ったり、ふだん通りできないものの楽しい生活を送ることができました。そして、楽しくないならば、自分で楽しみを見つければ良いということ学びました。

・「コロナ禍の学校生活をふり返って」小川 実桜

私はコロナ禍の学校生活をふり返って、日々の生活に感謝しないといけないんだなと思いました。私達の学校では、修学旅行は、校外学習という形で行うことができましたが、他の学校では、どこにも行くことができない所もあると知り、行けたことに感謝しないといけないんだなと思いました。これからもコロナに負けないように頑張っていきたいです。

・「コロナ禍でがんばったこと」渡辺 由依

私がコロナ禍でがんばった事は、感染予防です。登校した後は手洗いうがい、外から帰って来た時にも、手洗いうがいをし、あたりまえの事をきちんとやっていました。また、三密をさける努力もして感染を防ぎました。

今、私達が感染しないで元気に学校に来れているのも、三小の先生方達のおかげなのでこれからもコロナに負けずにがんばります。

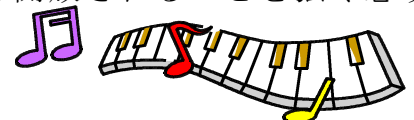
・「変わった学校生活」石坂 真央

私は、コロナ禍でくやしいと思いました。理由は、最後の年なのに行事が少なかったからです。コロナではなかったらどんなことができたのかなと思います。まわりの人たちが、コロナ禍だったから何もできないではなくて、今までとは少し変わってしまったけどその分楽しむ。と言ってくれてくやまずに、今できることをやろうと思いました。

・「コロナととなり合わせの一年間」楊原 響

小学校生活最後の一年、コロナととなり合わせですごしてきた。ぼくは児童会役員としての仕事がたくさんあったがコロナの影響で一年生を迎える会などが中止となり多くの仕事がなくなった。それは誰かのせいでも無いのでそこは受け入れなくてはならないと思う。次の児童会役員のためにも早くコロナウイルスから開放されることを強く思う。

アンサンブルコンテスト金賞・県代表決定！！



12月19日(土)千葉県文化会館において、第46回千葉県アンサンブルコンテストが実施され、本校の児童が、木管・打楽器七重奏と金管七重奏に出場し、どちらも金賞を受賞しました。併せて、木管・打楽器七重奏は県代表となり、1月23日(土)に行われる東関東アンサンブルコンテストに出場することとなりました。コロナウイルス感染症対策を徹底し、参加してまいります。保護者の皆様には、お迎えや大会出場にあたり朝早くからのお弁当作りなど、様々な場面でご協力いただきありがとうございます。

木管・打楽器七重奏に出場する児童にとっては、もう一度演奏できる機会があります。コロナ禍の中、練習時間の確保や感染への心配もあったことと思いますが、悔いのない演奏ができるよう、教職員皆で支援してまいります。

外出自粛要請期間の諸活動について

令和2年12月23日(水)から令和3年1月11日(月)の期間、千葉県民に対して不要不急の外出自粛要請が宣言されたことから、当該期間の部活動については、原則、実施しないこととしました。自粛要請の趣旨や当該期間の過ごし方について児童へ指導いたしますが、ご家庭におかれましても感染防止にご協力くださいますようお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」		
場面1 教室を伴う懇話会等 ● 懇話会や学年・学年を超えた懇話会を行う際は、人数を減らし、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 懇話会を行う際は、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 懇話会を行う際は、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。	場面2 大人数の場における飲食 ● 大人数の場における飲食は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 大人数の場における飲食は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 大人数の場における飲食は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。	
場面3 マスクなしでの会話 ● マスクなしでの会話は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● マスクなしでの会話は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● マスクなしでの会話は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。	場面4 狭い空間での共同生活 ● 狭い空間での共同生活は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 狭い空間での共同生活は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 狭い空間での共同生活は、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。	場面5 広場での知り合い ● 広場での知り合いは、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 広場での知り合いは、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。 ● 広場での知り合いは、感染リスクが高まるため、必要に応じてマスクを着用し、換気を行う。